

## A. O. 英語英文学科・3 年次

### I. 留学レポート

#### ① 留学決定から出発までの準備期間

オーストラリアの大学は2月に First Semester が始まります。なので、12月の留学決定から約2か月半しか準備期間はありませんでした。具体的に、Visa 申請、健康診断、授業登録、書類提出、寮費振込といった事をします。

#### ② 語学研修 (ESL, Academic Skills Study) 期間

Griffith 大学には語学研修がなく、すぐに正規授業に入ります。しかし、"Academic English" という授業が留学生用に設けてあるので、そこで Writing や Presentation の仕方などを学べます。

#### ③ 正規科目履修期間

- ・ 履修科目の決定

Semester 1: 2月26日～6月23日 5科目まで履修可能(オーストラリア人でも4教科くらいがちょうど)

私は応用言語学系が好きだったので言語学を中心に4科目履修しました。海洋科学にも興味があったのですが、授業が別のキャンパスであったり、統計学を履修していないと取れないという条件があったりで履修できませんでした。

Semester 2: 7月23日～11月17日 5科目履修しました。言語学ばかり履修していたので違う分野も挑戦しようと思い、同じキャンパスで履修可能な"Wine Study"というクラスを受講しました。これは Intensive Course になっており、Mid-Semester vacation 期間に集中して授業がありました。なので普段は4科目の時間割でスケジュールが組めました。

\*科目履修はインターネットを使い自分でシラバスを読み、自分で登録をインターネット上で行います。内容や履修条件を読んだり、評価方法なども参考にして決めていきました。Semester 1の科目登録については Griffith 大学の International Office からの認定が必要です。

- ・ 授業、レポート、定期試験

授業: Lecture, Tutorial, Workshop, Computer Lab の4種類のクラススタイルがあり、1科目に必ず Lecture と Tutorial のクラスが設けてあります。Lecture では大教室で大勢の学生が先生の講義を聴きます。Tutorial ではクラスが少人数になり先生に質問したり、みなで課題に取り組みます。

また、多い時は1科目に4種すべてのクラスが含まれます。Korean の授業がそうでした。

Korean の Workshop では実際に Korean を使うことが中心で、Presentation などを行いました。

Computer Lab ではパソコンを使って Listening の課題をやりました。

レポート:授業によって量や頻度が違いますが、だいたい毎回課題があります。どれも大体 A4 用紙くらいの課題なのでそれほど大変ではなかったです。

定期試験:Week 8~Week12 に Mid-term Exam があります。Week 14~Week16 に Examinations の期間があります。なので、授業が半分くらいまで進む頃には Exam や Essay があるのでそこそこ忙しいです。Study Week という試験準備期間もあるので助かりました。

#### ④ クラブ、課外活動、ボランティア活動

クラブはバレーボール部に入っていました。となりのキャンパスで週に2回ありましたが自由な雰囲気、男女混合でやっていました。その他では Japanese Club というのがありましたがあまり活発ではなかったです。

#### ⑤ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について（寮・ホームステイの決定方法、設備、イベント紹介など）

私は1年間ずっと大学内にある寮に住んでいました。留学前に希望する寮を知らせます。しかし、希望できるのは自炊寮か三食付きの寮か、部屋の人数、費用くらいでした。大学側が、年齢を基準に希望とてらしあわせて寮を決めます。特徴を以下にあげておきます。

- ・費用 AU\$107~AU\$125 per week
- ・掃除当番あり（怠慢すると罰金 AU\$88）
- ・Free BBQ（月に2~3回）
- ・Free Pan cakes and ice cream（月に1~2回）
- ・Party (Semi-formal party, Costume Party, Dance party etc.)
- ・Trip (遊園地、動物園、キャンプ)
- ・Academic Award (GPA が 6.0 以上の学生がピザとお酒が用意されているパーティに招待され、表彰される。)
- ・男女混合

#### ⑥ 長期休暇の過ごし方

冬休みは Contiki tour というバスツアーに参加し、カナダやアメリカ、イギリス、プエルトリコ、ドイツからのツアーメイトと共に東海岸を旅行しました！その他の短期休暇は集中コースをとったり、たまった課題をやっていました。夏休みはシドニーに旅行をしたあと、アルバイトをしていました。

#### ⑦ 留学期間中の就職活動の取り組み

教職課程をとっているのですが就職活動はしていませんでしたが、いろんな経験をして将来については視野が広がり、自分が今しないといけない事を整理することができました。

## II. 留学の感想

### ① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

一番楽しかったことは、友達がパーティ誕生日を祝ってくれたことです！課題で皆忙しい中でしたが、オーストラリア人の親友が自宅で誕生日会を開いてくれ、すごく楽しい一日をすごせました！また、別の日に日本人の友達が寮でパーティを企画してくれ、寮のメンバーとも楽しい時間を過ごせました！その他では、寮のメンバーと一緒に動物園に行ったり、クラブに行ってお酒飲んで、踊りまくったことが楽しかったです！

### ② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

留学中、一番辛かったことは、寮の部屋が汚くて、ワルのたまり場みたいになっていた事です。8人部屋で5人が男の子だったのでそういう環境になってしまったのだと思います。

Accommodation Office に部屋の変更をお願いしたのですが、もう空き部屋がないということで次のセメスターまではそこで住むしかないと言われました。最初はへこんでいましたが、友達がいろいろと助けてくれました。Second Semester では引っ越すことができ快適に過ごせました。

### ③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

食器の洗い方に驚きました。オーストラリアでは食器を洗剤で洗ったあと、流さずにそのまま乾燥させて棚にしまします。

## Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

### ① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点: 正規授業を前後期ともに履修できたこと。授業のパワーポイントのスライドを事前にダウンロードし予習できたこと。面白くていい先生がたくさんいたこと。日本語を学ぶ学生が多いこと。いろんな国籍の学生がいて、第二言語を使える環境であったこと。

悪かった点: 図書館が午後8時には閉まること。Accommodation Office の対応が遅いことや寮メンバーのマッチングを年齢だけでなくもう少し他の面も考慮してほしい。

### ② 日本から持って行って、特に役に立ったもの（パソコン持参の有無も含めて）

パソコン、変圧器、文房具、シャンプー・リンス、デジカメ、ボイスレコーダー

### ③ 語学力の向上等、留学の成果

留学して、見知らぬ土地で自分ひとりで生活する経験を通して、今まで気付かなかった自分を見ることができました。よい面もわるい面も含め、自分自身を見つめられたことは、人間として一回り大きくなれたと思います。無意識のうちに自己中心、自文化中心に陥り、相手との壁を自ら作り出していたこと、自分の気持ちに素直になれてなかったこと、人を思いやるとはどういうことなのかといった事に気づきました。どんな時も、自分が変わることでその状況を変えていけるとこの留学を通して実感しました。また、人は感謝の心を忘れたとき、墮落してしまい、逆に感謝の心を常に持っていれば、自分でも信じられないくらいの勇気をもってどんなことにも挑んでいけると実感しました。語学力の面では、正直もっと伸びると思っていました。でも1年は本当にあっという間にすぎます。やっと慣れてきたころに帰国の時期です。あと2年間はオー

オーストラリアで勉強したかったなと思います。でも、アルバイトも経験できて、1年前の自分よりははるかに成長していると思います。

#### ④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学したいと思っている人、是非挑戦してください！本当に自分が海外で生活できるのかといった不安もたくさんあると思います、でも絶対に乗り越えられます！私はどちらかというと消極的な方で、人前にでて話す事などは苦手でした。海外の大学では Discussion の授業もあるしついていけるか不安だと思います。でも！Griffith 大学は本当にいろんな国からの学生がいてみんなそれぞれを尊重して本当にいい雰囲気のクラスばかりでした。言語の壁で辛い経験ももちろんするかもしれませんが、でも「若いんだ、失敗を恐れてはいけないよ。失敗から学んでいけばいいんだよ。体当たりで進みなさい。それが青年です。」と私の恩師はそう言って励ましてくれました。どんな経験も自分の魅力となることは間違いないと思います。だから、今留学を目指す人たちは是非、一歩勇気をだしてみてください！留学の目標と目的を明確に、そして、目の前の課題に誠実に取り組んで、TOEFL にも挑戦してってください！！